



適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使 用 法	エトフェンプロッ クスを含む農薬 の総使用回数	
かんきつ	チャノキイロアザミウマ チャノコカクモンハマキ カネタタキ ケシキスイ類 コアオハナムグリ ミカンバエ成虫	2000倍	200～700ℓ/10a	収穫前日 まで	3 回 以内	散布	3 回以内	
り ん ご	モモシンクイガ キンモンホソガ	1000～2000倍		収穫14日前 まで				
	ハマキムシ類	2000倍						
な し	シンクイムシ類 ナシチビガ アブラムシ類	1000～2000倍						
	ケムシ類 ハマキムシ類	2000倍						
も も	モモハモグリガ	1000倍						
	シンクイムシ類	2000倍						
く り	クリシギゾウムシ							
か き	カキノヘタムシガ チャミノガ	1000～2000倍						収穫30日前 まで
	ハマキムシ類 カメムシ類 チャノキイロアザミウマ カキクダアザミウマ	1000倍						





⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使い切る。
- 水溶性フィルム包装の場合、内袋はぬれた手で触れない。内袋はそのまま所定量の水に投入する。外袋の開封後は使い切ることが望ましい。やむを得ず保管する場合でもできるだけ速やかに使い切る。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、近くに桑園がある場合には絶対に桑葉にかからないようにする。
- 散布器具、作業衣などは桑用と必ず区別する。
- ミツバチ、マメコバチ等に対して影響があるので、以下のことに注意する。
 - ① ミツバチ、マメコバチ等の巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しない。
 - ② 関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

⚠ 安全使用上の注意

- 誤飲、誤食などのないよう注意する。
- 粉末は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないように注意する。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。また、散布液も眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入らないように注意する。眼に入った場合は直ちに水洗する。
- 散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。
- 作業後は手足、顔等を石けんでよく洗い、洗眼・うがいをする。

治 療 法…該当なし

魚毒性等…水産動植物（甲殻類、冷水魚）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。

使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

保 管…密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼・乾燥した所。

水溶性包装の場合吸湿性があるので、湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を固く閉じて保管する。

